

## 農業の方向と肥料の役割

チッソ旭肥料株式会社

社 長 柴 田 勝



新年明けましておめでとうございます。

年頭にあたりご愛読の皆様方のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。

昨年は食の安全性が厳しく問われた一年でした。BSEに起因する骨粉の使用停止により、これを原料とする有機質肥料の生産に支障が起こり、農産物の安全生産に影響を及ぼしております。また、中国産輸入冷凍野菜に含まれる農薬が基準値を超えていたことは消費者の不安感をつのらせましたし、無登録農薬の販売・使用があったことも大きな問題になりました。

消費者の食べ物に対する「安全・安心」への関心は一層高まり、農産物・畜産物の生産から消費までの「トレーサビリティ」という言葉が今後の重要なキーワードになりました。「顔が見える農業」が日本農業の進むべき方向であると強く感じております。

農業生産の場面に目を向けますと、昨年来、持続的な農業生産に転換しようと、肥料・農薬の適正利用、環境負荷低減に役立つ技術の開発・普及や有機性資源の循環使用の諸施策が推進されております。高度化成など肥料需要は減少基調にありますが、適時・適所に加えて「適切な肥料」を使用する取り組みが一層発展していくものと考えております。

被覆肥料の先駆けとして発売してまいりました

当社「LPコート®」「ロング®」は、諸先生方のご研究の成果に基づき、水稻や多くの果菜類で「全量基肥・基肥重点施肥体系」に適した肥料としてご愛用いただいております。これまでの「基肥一追肥施肥体系」に比べて、安心して追肥作業が省力化できるとともに養分利用率が高いことから施肥量も削減できることが明らかになり、肥料の適正使用に沿った肥料としてもご評価いただいております。被覆肥料の役割は益々重要になると考え、私どもは今後とも被覆肥料の改良に努めてまいります。

また、当社は緩効性窒素肥料「CDU®」、硝酸系高度化成「燐硝安加里®」、泡状高度化成肥料「あさひポーラス®」、打ち込み肥料「グリーンパイル®」、育苗資材「与作®」など特徴ある肥料・農業資材もお届けしておりますが、これら商品の特徴や使用法を改めてご説明申し上げ、被覆肥料とともに日本農業に貢献したいものと願っております。

本誌「農業と科学」は毎年、多くの先生方にご執筆をいただき、今では参考文献としてご紹介いただけるようになりました。ご愛読の皆様方の書架に「農業と科学」のファイルを拝見して無上の喜びを感じております。

本年も編集部一同努力してまいりますので、本年もご愛読賜りますようお願い申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。